

特別支援学校等教育における学校危機支援システムの検討 —トラブルシューター教育ネットワークの実践から—

企画者	堀江まゆみ（白梅学園大学子ども学部発達臨床学科）
司会者	堀江まゆみ（白梅学園大学子ども学部発達臨床学科）
話題提供者	大沼 健司（東京都立青峰学園特別支援学校） 赤塚めぐみ（常葉大学保育学部保育学科）
指定討論者	深井 敏行（東京都立板橋特別支援学校） 岩崎 伸浩（徳島県立池田支援学校）

KEY WORDS: 学校危機支援システム、性問題支援、教員メンタルヘルス支援

【企画趣旨】

近年では、災害や事件・事故等の危機状態に接した場合の学校での緊急支援のあり方が注目されるようになった。

本報告者らは、2003 年に「養護学校等における社会的トラブル支援の実態とその課題」全国調査を実施してから、特別支援学校等の児童生徒が巻き込まれやすい窃盗や性被害・加害疑い等の危機支援に関して教育実践の研究を重ねてきた。特に、繰り返される児童生徒の性被害・加害等に対し学校での指導に生かせる危機介入支援プログラム（KeepSafe 実践）など実証的研究も進めてきた。

今回は改めて、特別支援学校等の児童生徒・教員に関わる「学校コミュニティにおける危機とその支援」について取り上げ、①学校における危機とはなにか、②児童生徒の社会的トラブル等にむけた教育・予防プログラムの提案、③教員のメンタルヘルス支援の必要性について問題提起を行う。これにより現場で実践可能な校内支援システムの必要性和意味をより明確にすることを目的とした。

特に、学校危機の問題解決を目的とした「全国トラブルシューター教育ネット」の実践から話題提供を行う。本ネットの役割と今後の展望について、本ネットが実施した「特別支援学校等の学校教育における児童生徒の社会的トラブルや触法問題」調査の報告、「学校で起こる多様な危機に対する教育体制や教員の危機対応支援スキル等に関する調査」研究からの課題を明らかにすること、多様な危機に対応することのできる教育体制の構築および教員スキルの向上である。これらをめぐって議論したい。

【話題提供者の趣旨】

【大沼健司】

「特別支援学校の児童生徒の触法問題等に関する全国調査と危機介入支援の課題—性問題行動から—」

学校教育の役割は、教育活動を通じて児童生徒の社会参加を促進することにあるが、触法関連事例に対しては、教員の知識やスキル、校内システムが不十分であるために適切な支援が行われず、その結果として児童生徒が社会から隔離されることがある。そこで、全国の特別支援学校の教員を対象に、児童生徒の社会的トラブルや触法問題とその対応に関する調査を行い、現状と課題を明らかにした。

特に、性的問題行動を示す知的障害・発達障害のある青年期の生徒に対し、効果的な発達の・臨床的支援方法としてイギリスで開発された「性的問題行動（HSB）」を示す知的障害・発達障害のある青少年と保護者向けのグループ治療プログラム“Keep Safe”の実践を紹介する。不適切な性行動や性犯罪行為が青少年期に始まっていることも少なくない。思春期・青年期への発達の支援や臨床的アプロ

ーチが必要であることが指摘されており、学校現場での危機支援あるいは予防的対応プログラムの可能性を提案する。

【赤塚めぐみ】

「支援困難な児童生徒の指導に当たる教員の危機支援とメンタルヘルス—教員支援の必要性和学校コミュニティの危機支援体制の課題—」

児童生徒の社会的トラブルや触法問題は、重篤で支援困難になることも少なくない。特に、性被害・性加害疑いが学校管理下で起こった場合、指導や支援に直面する担当教員は、①被害児童生徒へ早期のトラウマ支援、②被害・加害疑い両者の保護者への説明と理解をめぐる心理的疲弊、③学校内のバックアップ体制の不足による支援スキルの不足と孤立、④特に性被害では、担任教員自身が二次的性被害によるフラッシュバックが起こることが繰り返し指摘されてきている。しかし実際の現場では、支援課題を抱える担任教員は保護者と管理職の間で疲弊しており、教員のメンタルヘルスと学校体制としてのフォローアップ実践が急務となっている。

学校危機への教師支援およびそれを支える支援体制の構築は、①危機となるトラブルや出来事を事前に予防すること、②もし起こった場合に備えた児童生徒の支援、教員の支援、学校全体の支援体制を整備する、③トラブル・危機発生直後に適切な包括的対応を行う、④事後検証として長期的な対応とこれまでの予防・準備・直後対応について課題整理をするといった 4 つの取り組みからなる。これらの取組が現在の学校体制において十分であるか、至急の取りくむべき課題は何かを提案する。

【指定討論者の趣旨】

深井敏行「学校危機における支援構造とその課題から」

岩崎伸浩「学校危機における教員支援とその課題から」

児童生徒が巻き込まれる社会的トラブルや教員に対するメンタルヘルスに関して学校現場で実践可能な校内支援システムとはなにか。これにより、担任等教員が困難事例を個別に抱え込む等の危険を回避し、学校で継続可能な支援システムを構築するための課題を学校管理の視点から述べる。

（文献）

堀江まゆみ他（2010）発達障害のある青年の非行・犯罪予防に向けた非行リスク誘発要因の分析およびメンタルヘルスと特別支援教育における非行・犯罪予防ワークショッププログラムの開発。季刊社会安全、NO.76.

(HORIE Mayumi, OHNUMA Kenji, AKATSUKA Megumi, FUKAI Toshiyuki, IWASAKI Nobuhiro)